

文芸部

短歌甲子園二〇〇八（全国高校生短歌大会）が八月二十一日から二十三日までの三日間岩手県盛岡市で開催され、本校文芸部員がチームを組んで出場し、団体戦・個人戦に挑んだ。そして、個人戦において、本校二年生清野絵理さんの短歌が最優秀作品賞ならびに特別審査員・小島ゆかり賞をダブル受賞した。

個人戦は、出場した高校生百二十七名すべてが「城跡」「あこがれ」の二つのテーマで題詠し、その二百五十首余の短歌から「参加者・観客に

よる投票」によって選ばれた二十首を最終日の「公開決勝審査」によって審査した。清野さんの作品は

最優秀作品賞 清野絵理さんが受賞



城跡や空の役目は
少年に何問われても
答えないこと
この歌はもちろん

不来方のお城の草に寝ころびて／空に吸われし／十五の心と詠んだ石川啄木を想起させるものである。清野さんの歌の「少年」は百年前の啄木であり、今青春のただ中にある清野さん自身でもあるのだろう。特別審査員の小島ゆかり氏は「わたしたち人間にとって自然とは何かという問題を、科学と異なる視点から捉えた

点でも見事な作品」と評した。団体戦は、出された題について先鋒、中堅、大将の三人がそれぞれ短歌を発表して対決。二勝したチームが勝つ仕組みだ。出場は十六道県の三十六校から三十九チーム。一次リーグが一ブロック三チームの十三ブロックで争われた。本校文芸部チームは清野絵理（二年）久嶋留悠那（二年）金森春香（一年）の三名。一次リーグを大宮開成（埼玉）に二対一、河瀬（滋賀）に二対一でそれぞれ勝利し最終日の決勝トーナメントに駒を進めた。十三チームで争われた決勝トーナメント一回戦の相手

はなんと同県対決、能代高校であった。（秋田県は二校出場であった）そこで、惜しくも一対二と敗退してしまった。団体戦の優勝校は魚津高校（富山）だったが、魚津高校部長の早川君は、昨年度の全国高等学校総合文化祭出雲大会の短歌部門に出場しており、本校の文芸部から出場した佐藤知香（三年）と同じグループになった縁があり、本校文芸部と部誌をやりとりする仲であったため、本校にとって二重の喜びとなった大会であった。来年度は、団体戦での優勝を期待したい。

部活動戦績

◇ラグビー

全国大会県予選
決 勝 秋田19―35中 央
全県新人
2 回戦 秋田15―26秋田工
3 位決定戦 秋田47―7男鹿工

◇陸上競技

中央支部新人
〈男子〉
110mH 近藤 道行 2位
高橋 智貴 3位
1600mR (保坂、佐藤、船木、田口)
棒高跳 船木大資 1位
走幅跳 近藤道行 1位

〈女子〉

800m 鈴木 契 1位
400mH 中泉琴乃 2位
1600mR (中泉、鈴木、工藤、池田)
七種競技 池田咲子 2位
トラック総合 2位
混合総合 3位
全県駅伝競走大会 2位
男子 15位
女子 12位
全県新人
〈男子〉
100m 高橋智貴 4位東北出場
5000m 田口大貴 3位東北出場
110mH 近藤道行 3位東北出場
高橋智貴 5位

5000mW

相場智仁 4位東北出場
400mR (保坂、高橋、佐藤、船木) 5位
1600mR (保坂、佐藤、船木、田口) 4位
棒高跳 船木大資 1位東北出場
走幅跳 船木大資 1位東北出場
近藤道行 3位東北出場
トラック総合 3位東北出場
フィールド総合 5位
総 合 6位
5位

〈中泉、鈴木、工藤、池田〉

七種競技 池田咲子 3位東北出場
混合総合 4位
東北選抜 船木大資 2位
棒高跳 船木大資 2位
◇バスケットボール
全県選抜予選 2回戦 秋田84―95男鹿工
中央支部新人 予選リーグ 秋田2勝1敗
決勝トーナメント出場決定戦 秋田86―96秋田南

準々決勝

秋田2―0中 央
決勝リーグ 秋田1―2秋田南
秋田0―2秋田工
秋田2―0秋田西
◇卓 球
中央支部新人 男子団体 第2位
決勝リーグ 秋田3―1秋田工
秋田3―0由利工
秋田0―3秋田商
全県新人 男子団体決勝リーグ 2位
秋田3―1大 曲
秋田0―3秋田商
秋田3―2増 田
◇バドミントン
中央支部新人

◇バレーボール

全県選抜優勝大会 男子
1 回戦 秋田0―2鷹 巣
中央支部新人 予選 秋田2―0本 荘